

常盤台一・二丁目町会マンスリー

2021年2月号 No.14 Facebook: 常盤台一二丁目町会

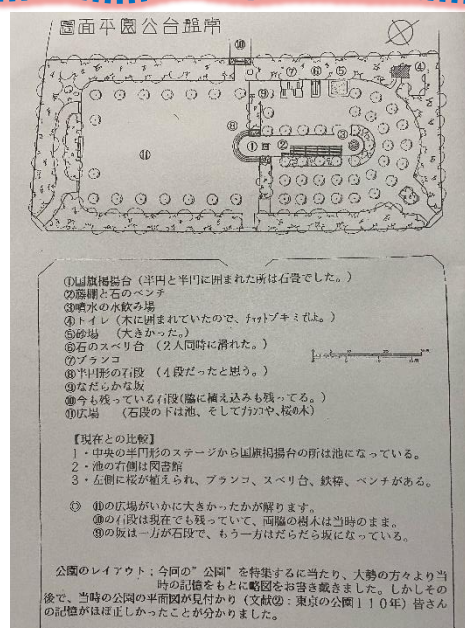
TEL:03-3969-8121 会長 岩崎 忠雄

◎ 大関・貴景勝所属の「常盤山部屋」が常盤台近くに移転

兵庫県芦屋市出身の大関・貴景勝が所属する常盤山部屋が、当町会のお隣り前野町にやって来ます。移転は2月中旬の予定。新しい部屋は、淑徳大学近くの3階建てのようです。3階に常盤山親方（元小結隆三杉）夫妻、2階は若い衆が住む大部屋、1階が稽古場。部屋名が、親方の交代で千賀ノ浦部屋(元関脇舛田山)から常盤山部屋に変更となり、部屋名にちなみ最寄り駅「ときわ台」の地に来たのではと推察します。貴景勝はかど番脱出に向け再起を期します。大関堅持、横綱になるよう応援しましょう!!

◎ 常盤台公園の旧中央図書館跡地について

新しい中央図書館は平和公園に本年4月にオープン予定です。新中央図書館への期待が高まると同時に、当町会内にある旧図書館の跡地がどうなるのか気になるところです。右図は92年の町会ニュースが特集した、旧中央図書館が建設される前の常盤台公園の姿で、全面が公園になっていま



(町会ニュース 1992.4.11 特集“公園”)

す。1961年に常盤台公園の常盤台小学校寄りにプールが建設されます。1971年にはプールが解体され、板橋区の文化の拠点として旧中央図書館が建設されます。

跡地の利用については、区民事務所とするなら図書館機能(貸出、返却の窓口)を持たせてほしい、音楽ホールを建設して欲しい、公園にもどすべき、などの意見がだされていました。どうなるか現状では不明ですが、新型コロナウイルス感染症対策により区財政もひっ迫しており、当面現状のまま残されとの観測がでています。町会事務所の老朽化対策もあります。あらためて多面的に考えてみる良い機会でしょう。

◎ イギリス人が感心した常盤台の街並み

本年1月に筆者のロンドン勤務時代の友人(渋谷区神宮前在住、奥さんが日本人)が常盤台に訪れ、曲線の街並みがイギリスの代表的な田園都市であるレッチワースに似ており優雅で素晴らしいと感心していました。拙宅でアフターヌーンティーの後、駅前のカフェレストランで食事、旧交を温めました。広々とした緑のロータリーを気に入っていました。日本も大変ですが、本国はCovid-19でロックダウン、日本で良かったといっていました。

◎ 「ときわだより」1、2月号より “一步一步着実に”、思わぬ恩恵

「今年は丑年・・・先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年・・・”やれることをこつこつとやる”」(田口常小校長)。コロナ禍で活動が制約される中、地道な努力工夫が次の飛躍に繋がります。コロナ禍で「残った食材を国が買い上げて給食に提供する事業で思わぬ恩恵・・・1月にA5ランクの牛肉が牛丼として登場・・・子どもたちはとても喜び、おかわりの列・・・今後牛肉や真鯛が登場します」コロナにめげず先を明るく見ましょう!!